

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】エコアクション21を取得する			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】自社ホームページ上で環境に対する取り組みを情報開示する												12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	工事現場での交通整理用看板等、可能な限り太陽光パネルを電源としたものを活用する							7.2						13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】非合法製品を使用していないかチェック及びその体制の構築												12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス遵守を経営基本方針内に掲げ、社内に掲示し周知徹底を図り年1回以上の社内全体研修会実施																	16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス遵守を経営基本方針内に掲げ、社内に掲示し周知徹底を図り年1回以上の社内全体研修会実施																		16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産(特許・商標・著作権)等を活用、使用する場合 は知的財産権の侵害とならないように取り組んでいる									8.2	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	従業員の個人情報に関して、紙データは施錠された保管庫に保存している。また、電子データは役席者のみが閲覧できるサーバに保存している																			16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物を含んだ製品の取り扱い使用は無い																			16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】定期的な協力会社との会議において、人権侵害環境保全に対する取り組みの確認を行う					5				8		10		12	13	14	15	16	17	
28		製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している			3.9										12.4					
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	機能面等向上等で一部設計変更を行うことが望ましいと判断される際は、施工業者として提案することが出来る機会を施主、設計士との定例会議等で確保している																	9		
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	発電事業は、法令やガイドラインに則りながら、防災・環境保全の観点から十分留意した開発設計を行っている。土木事業においては、工事時期など周辺環境に配慮							6						12	13	14	15			
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	老朽化の進む道路・橋梁の補修など地域住民のインフラ整備の取組。道路の保守管理に係る技術開発。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地元住民との工事説明会を実施。対話に基づき事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている				4									9		11	12			14	15			17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	工事の一環として、地域住民のための活動、地元イベントへの協力など積極的に行っている				4												11				14	15			17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地元商材の積極的な活用。工事用資材に県内産木材を優先的に使用している														8	9			11	12	13				
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	全社員出席による毎月1日での社長による事業目標達成に向けた訓示及び共有。会社経営方針の確認													8	9										17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	労働基準法やその他法令を遵守する旨を就業規則に明記し、年1回以上の社内コンプライアンス研修を実施																								16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者(担当役員)を任命している。																								16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し具体的な内容に努めている																							16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	BCP(事業継続計画)を策定し、事業継続において障害となるリスクを洗い出し、項目毎の対応策を整備する																								16
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	災害発生時等の緊急時に率先して安全確保・復旧活動に取り組むことを使命とし、各種団体と災害応急対策業務契約を交わしている																								16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続計画(BCP)の策定、定期的な訓練を実施																9			11		13 13.1			16
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	事業承継に伴う後継者がいる														8	9									17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)